

令和5年度 農山漁村振興交付金(農泊推進型) 事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

2. 事業評価結果の総括

令和5年度に交付金事業を実施した東北農政局管内の5地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。

その結果、優良と認められる地区が3地区、総合的に低調と認められる地区が2地区との評価結果となった。

総合的に低調と認められる地区に対しては、重点的な指導、助言等を行う。

また、今年度の評価対象ではないが昨年度に重点指導の対象となっていた4地区について、重点指導の結果を評価した。その結果、来年度も引き続き重点的な指導、助言等を行う地区は1地区であった。

3. 各地区の評価結果

9件(うち4地区は、今年度評価対象ではないが昨年度重点指導となっていた地区)

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント		
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8				
東北	秋田県	大館市	大館市まるごと体験推進協議会		★		◆	▲	△					C	<p>事業実績の売上高及び延べ宿泊者数の達成率が2年続けて低調となっており総合評価をCとした。</p> <p>目標達成には至らなかったが、SNSでの定期的な情報発信、新たな体験メニューの造成、受入体制の整備により、前年と比較して、売上高及び延べ宿泊者数がいずれも伸びており、改善に向かっていることは見受けられる。</p> <p>今後、インバウンド向けの価格改定、より一層の情報発信など、地域一体的な活動を継続して行うことにより目標値を達成することを期待したい。</p>
東北	宮城県	石巻市	いしのまきグリーンツーリズム協議会			●	●	▲						A	<p>事業実績が改善され、目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。</p> <p>北上町、石巻中心市街地の多様なコンテンツを活かしたサイクルツーリズム等のパッケージの提供による好循環、アフターコロナによる訪問者数の増加、OTA登録による認知度向上により、売上高及び延べ宿泊者数が改善されたことは大いに評価できる。</p> <p>今後は、SNSでの情報発信を計画的に行うことで、地域内外の認知度を向上させ、事業実績を伸ばすとともに、地域の合意形成、活動推進を図ることで、地域に取組が更に広がっていくことを期待したい。</p>

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント	
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
東北	秋田県	大仙市	大仙地域活性化協議会			●	● ■ ▼	▲					A	<p>事業実績が改善され、目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。</p> <p>前年までに構築した受入体制の土台整備を基に、既存コンテンツのブラッシュアップと販売活動に注力したことで、延べ宿泊者数は未達であったものの、特に高価格帯の商品提供により売上高が大幅に改善されたことは大いに評価できる。</p> <p>今後は新たな宿泊事業者の獲得や、体験コンテンツの拡充と併せて、多くの人々に取り組みを知っていただけるような継続的かつ特徴的な情報発信にも力を入れていくことで宿泊者を呼び込み、地域全体の収益向上につながることを期待したい。</p>
東北	宮城県	仙台市	作並温泉農泊協議会				● ▼	● ■ ▲ ▼		△			C	<p>事業実績の売上高及び延べ宿泊者数の達成率が低調であり、中核法人が事業完了までに法人格を有していないことから総合評価をCとした。</p> <p>取組状況は予定どおり実施されており、体験プログラムの開発に結びついていないように伺える。また、実施体制については、中核法人が法人格を有しておらず、責任の所在が明確化されていないため、ビジネスとして農泊を実施する体制が整っていないと判断される。</p> <p>今後、農泊の取組に必要な体制整備を改めて行い、地域協議会を軸とした活動をまずは継続させること、その上で、本事業の成果を販売につなげ、目標達成に向かう取組となること期待したい。</p>
東北	秋田県	仙北市	一般社団法人仙北市農山村体験推進協議会				★			◇			A	<p>計画どおり取組が全て実施され、目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。</p> <p>改修した2軒の施設は、OTAサイトの活用で独自に集客できる施設となっている。また、SNSによる積極的な情報発信を行い、国内外から宿泊者を受け入れ、リピーターを獲得することができたことで、売上高、延べ宿泊者数は、目標値以上の成果を上げていることは大いに評価できる。</p> <p>今後も、事務局を中心に各施設や他事業者との連携を密にしていくことで、更なる取組の発展、地域全体の収益向上につながることを期待したい。また、受け入れ農家の高齢化への対応として、泊食分離を目指すことは、長年グリーンツーリズムに地域をあげて取り組んできたからこそできる方向性である。</p> <p>他地域が目指すべきモデルとして発展することを願う。</p>

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント	
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8			
東北	山形県	山形市	DMOさくらんぼ山形				●	■					A	<p>計画とおりに取組が実施されており、また目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。</p> <p>紅花を基軸とした協議会の設立により地域内連携の体制が構築され、飲食店のメニュー開発、アクティビティの受入れ体制、生産者と新しい生産体制の取り組みが実施できたことは評価できる。</p> <p>ただし、ツアー募集の販促部数が多いことに対し、宿泊者数及び体験プログラムの参加者が未達であることは気になる。農泊推進事業であることを考慮すると原因は把握されておいていただきたい。</p> <p>今後、設立された協議会を中心に、生産量が増え、紅花を扱う地域店が増え、商品が増えていくことで地域外からのニーズも高まる可能性を感じられるので、目的である農業従事者の所得向上と紅花産業の保全につながることを期待したい。</p>
東北	福島県	磐梯町	会津磐梯農泊推進協議会					●	□				A	<p>計画どおり取組が全て実施され、目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。</p> <p>食事メニュー及び体験プログラムの開発のための取組が計画以上の実施率で行われており、受入体制が整備され、売上高及び延べ宿泊者数が達成していることは評価できる。ただし、令和5年度は途中年度のため、目標設定が低かったようにも伺える。</p> <p>目標年度である令和6年度は、目標達成に向けて、作成したLPの活用などにより、効果的な情報発信を行い、販売につながる取組を着実に行うとともに、地域内連携をさらに深め、特に宿泊と一体的な提供を行うことで、地域の利益を最大化させた取組を展開していくことを期待したい。</p>
東北	福島県	石川町	石川町農泊推進協議会				●	■	▲				A	<p>事業実績が改善され、目標を上回る実績となっており総合評価をAとした。</p> <p>温泉旅館との連携を強化、地域おこし協力隊を活用したSNSによる情報発信により、インバウンドによる地域の売上高及び延べ宿泊者数が改善されたことは大いに評価できる。また、課題であった、サイクリングコースの再協議についても、地域内で前向きに検討が行われ、改善に向けて、継続した活動が行われているように伺える。</p> <p>今後、引き続き地域内での連携を強化するとともに、サイクリングコースの確立、定期的な情報発信を行うことで、さらなる実績の向上につながる取組となることを期待したい。</p>

農政局等	都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
東北	宮城県	気仙沼市	気仙沼ヘルスツーリズム協議会					● ▼	○ □ △			C	<p>事業実績の売上高及び延べ宿泊者数の達成率が低調となっております。ただし、令和5年度の事業期間が4カ月間であったことを考慮すれば、目標達成に向けた取り組みは評価できる。</p> <p>インバウンド向けの受入コンテンツの造成や受入体制整備により、インバウンドを迎える環境は整ったように伺える。また、インバウンド来訪者が少ない地域において、増加傾向となったことについては一定の評価はできる。</p> <p>今後、造成されたプロモーションコンテンツや旅行会社との連携などの取組の成果を着実に活用し、地域一体的な活動を継続して行うことで、実績につながる取組となることを期待したい。</p>

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○●●交付対象年度(計画) ●●●交付対象年度(実施済) □●●目標年度(計画) ■●●目標年度(実施済)
ハード対策 ☆●●交付対象年度(計画) ★●●交付対象年度(実施済) ◇●●目標年度(計画) ◆●●目標年度(実施済)
重点指導 ▼●●重点指導(通知) △●●重点指導(結果報告予定) ▲●●重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A●●優良 B●●良好 C●●低調 評価対象外●●評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領」(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)別記4の第9の3の規定に基づき、第三者機関である「東北農政局農山漁村振興交付金評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長:中村 勝則(秋田県立大学准教授)

委員:横田 純子(特定非営利活動法人 素材広場 理事長)、渡辺 理絵(山形大学准教授)

【令和6年度評価委員会の開催概要】

評価委員会

- 1 日 時 :令和6年7月26日(金) 10:00~12:00
- 2 場 所 :仙台合同庁舎A棟6階会議室
- 3 議事概要
 - (1)評価結果について
 - (2)評価結果の活用について
 - (3)その他
- 4 主な意見
 - ・特になし